

四国鉄道文化館南館開館 記念シンポジウム

実施報告書

平成26年7月20日 開催

於:西条国際ホテル

発行 愛媛県西条市役所総合政策課

目次

◎シンポジウム実施概要.....	2
◎シンポジウム「基調講演」について.....	3
◎シンポジウム「パネルディスカッション」について.....	4
◎関連展示(西条国際ホテルロビー).....	5
◎関連展示(十河信二記念館).....	6
◎シンポジウム(事前周知関係).....	7、8
◎シンポジウム(各メディアの掲載記事等).....	9、10
◎シンポジウム参加者アンケート結果.....	11~13
◎シンポジウムアンケート設問.....	14

シンポジウム実施概要

- ・日 時 平成 26 年 7 月 20 日(日)
13:30~16:00
- ・場 所 西条国際ホテル2階 優宴の間
- ・シンポジウム出演者
 - 【基調講演】 原 朗(東京大学名誉教授)
 - 【パネルディスカッション】
 - コーディネーター 加藤 新一(鉄道史研究家/十河文書研究会)
 - パネリスト 泉 雅文(四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長)
 - つだ ゆみ(「十河信二伝」著者/漫画家)
 - 平井 誠(愛媛県歴史文化博物館 主任学芸員)
 - 青野 勝(西条市長)
- ・来 賓 19 名(詳細は次頁)
- ・一般来場者 約 210 人
- ・主 催 西条市
- ・後 援 愛媛県・愛媛県教育委員会・西条市教育委員会・株式会社交通新聞社・愛媛新聞社・朝日新聞松山総局・毎日新聞松山支局・読売新聞松山支局・産経新聞松山支局・日本経済新聞松山支局・NHK 松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・FM 愛媛・ハートネットワーク・四国旅客鉄道株式会社・公益財団法人日本ナショナルトラスト・一般財団法人日本宝くじ協会・愛媛県鉄道高速化促進期成同盟会・西条市観光協会・西条市文化協会・西条商工会議所・周桑商工会・道前会・伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・東予信用金庫・西条市連合自治会・西条市連合婦人会・十河信二を知る会(33カ所)

シンポジウム「基調講演」について

講演概要

- ① 十河総裁就任時の三構想
- ② 地中海と瀬戸内海
- ③ 後藤新平構想の英文『東アジア公式ガイド』全5巻
- ④ 瀬戸内海国立公園 80年
- ⑤ 近現代の瀬戸内海
- ⑥ 瀬戸内海・四国の観光と産業
- ⑦ ミシュラン・グリーン・ガイド・ジャポン改訂第3版の三つ星と二つ星
- ⑧ インバウンド観光の実態
- ⑨ 瀬戸内海・四国の交通



東京大学名誉教授

原 朗氏

シンポジウム「パネルディスカッション」について

【加藤氏発言要旨】

- ・ 6両の車両が集結している鉄道館は、全国的にも珍しいが、単なる展示施設にとどまらず、鉄道に関する先行研究を分析する拠点、知恵と汗で活動を展開できる拠点に発展させていくことが重要



コーディネーター

鉄道史研究家 加藤 新一氏



【泉氏発言要旨】

- ・ 近年は、鉄道に乗ること自体が観光となっているが、それとともに地元のイベントを仕掛けていくことが重要
- ・ 市との連携協定で継続して情報や意見の交換が必要
- ・ 情報発信の一つとして、産業観光の商品をより強化していきたい。

パネリスト

四国旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 泉 雅文氏

【つだ氏発言要旨】

- ・ 十河信二先生の出身地だから、これだけ多くの鉄道車両が集まったのだと思う。
- ・ 人は、刺激を求めるとともに変わらないものによる安心感も欲するものであり、南館についても、そのような2つのバランスを保った場所であってほしいと願う。



パネリスト

「十河信二伝」著者/漫画家
つだ ゆみ氏



【平井氏発言要旨】

- ・ 「鉄道」+「文化」の冠を表した施設は珍しく、それゆえ、様々な視点からのイベントや展示及び多角的な館の運営を行うことが可能
- ・ 地域に根差した博物館であることが重要
- ・ そのうえで、県内の自治体や県外の類似施設との交流が必要で、鉄道をキーに県歴史文化博物館と西条市との交流も深めたい。

パネリスト

愛媛県歴史文化博物館
主任学芸員 平井 誠氏

【市長発言要旨】

- ・ 現在の北館から得た教訓として、新しいものを付け加え、JRや他自治体との資料・物品の貸し借りによる連携により、活性化を図ることが必要
- ・ 十河さんの生き様や西条への貢献に感謝をし、しっかりとしたふるさとを作りたい、そのための四国鉄道文化館としたい。



パネリスト

西条市長 青野 勝

関連展示(西条国際ホテルロビー)





四国鉄道文化館 展示車両、新たに4両

「南館」7月20日オープン

愛媛県西条市は、予讃線伊予西条駅南側で建設を進めている四国鉄道文化館南館を、7月20日にオープンすることを、同日に開館を記念したシンポジウムを開催する。

十河氏テーマに記念シンポ

同館は、同駅北側に隣接する四国鉄道文化館の展示スペース拡大を図るが目的。同市の市民公園に飾られていた蒸気機関車C5744号機や、JR四国の多度津工場で保存されていた急行形気動車キハ65とDE101号展示される急行形気動車「キハ65」

同館は、昨年9月まで予讃線社や愛媛県鉄道高速化促進で走行試験を行っていた軌間可変電車(フリゲ)車展示車両に加わる。また、鉄道に関する各種資料も充実させる。

シンポジウムは、戦後野勝市長らが登壇し、「四国鉄道文化館とその可能性を探る」と題した鉄総裁を務めた十河信二氏の功績をメインテーマに、西条国際ホテルで実施。JR四国、交通新聞

記事は、各社に許諾を得て掲載しています。

市報(平成 26 年 7 月号)

地元フリーペーパー ホージャ Vol.237

● 南館オープン 記念イベントのご案内 ●

南館開館記念シンポジウム
十河信二さんと四国の鉄道と観光

- 日時 7月20日(日) 13時30分～16時
- 場所 西条国際ホテル(大町771-1)
- 基調講演
 テーマ: 十河国鉄総裁の瀬戸内観光構想 ～瀬戸内海と地中海～
 講演者: 東京大学名誉教授 原 朗氏
- パネルディスカッション
 テーマ: 四国鉄道文化館とその可能性を語る
 コーディネーター: 鉄道史研究者(十河文書研究会) 加藤新一氏
 パネリスト: 四国旅客鉄道㈱代表取締役社長 泉 雅文氏
 「十河信二伝」著者・漫画家 つだゆみ氏
 愛媛県歴史文化博物館主任学芸員 平井 誠氏
 西条市長 青野 勝

※会場では鉄道関連の写真展示も実施します。
 ● 問合せ 市庁舎本館総合政策課 政策推進係 TEL0897-52-1460

四国鉄道文化館南館 開館記念 シンポジウム

「十河信二さんと四国の鉄道と観光」

- 日時 7月20日(日) 13:30～16:00 (開場 13:00)
- 場所 西条国際ホテル 2階「優宴の間」 入場無料

基調講演
「十河国鉄総裁の瀬戸内観光構想～瀬戸内海と地中海～」
 ■ 講師 原 朗 (東京大学名誉教授)

パネルディスカッション
「四国鉄道文化館とその可能性を語る」
 コーディネーター: 加藤新一 (鉄道史研究者/十河文書研究会)
 パネリスト: 泉雅文 (四国旅客鉄道株式会社代表取締役社長)・つだゆみ (漫画家/「十河信二伝」著者)
 ・平井誠 (愛媛県歴史文化博物館主任学芸員)・青野勝 (西条市長)

【関連展示】 西条国際ホテル 鉄道写真など
 十河信二記念館 まんが「十河信二伝」巡回作品展

■ 問い合わせ 西条市総合政策課 0897-52-1460

第4代 国鉄総裁
 十河 信二

その他、西条市ホームページ・西条市フェイスブックに掲載、西条市広報番組「キャッチボール西条」にて、告知

シンポジウム(各メディアの掲載記事等)

愛媛新聞(平成26年7月21日 3面) 掲載許可番号 G20141001-01693

C57形蒸気機関車「春雷号」などを展示する四国鉄道文化館南館が20日、西条市大町のJR伊予西条駅の東南側にオープンした。家族連れや愛好家が迫力ある車体を堪能し、記念撮影などを楽しんだ。

南館は、延べ床面積658平方メートル、同駅南広場と合わせ市が約6億5千万円かけて整備。春雷号のほか、県内でも活躍した「キハ65」とディーゼル機関車「DE10」、フリーゲージトレイン(軌間可変電車)を展示している。線路を隔てて北側には、2007年に開館した0系新幹線などを展示する四国鉄道文化館北館がある。

南館前であった記念式典にはJR四国などの関係者約80人が出席。青野勝市長は「観光拠点として、四国の鉄道文化と市の魅力を内外に発信したい」とあいさつした。

C57形SL「春雷号」やディーゼル車「DE10」展示

西条・四国鉄道文化館 南館オープン

オープンした四国鉄道文化館南館で蒸気機関車などを見学する来場者。20日午前、西条市大町。



力(約14平方メートル)もあり、来場者が食い入るように見つめていた。

家族と来た大洲市立粟津小学校5年の松井楓介君(10)は「古い車両もいっぱいあり、すごい。とても楽しかった」と笑顔だった。

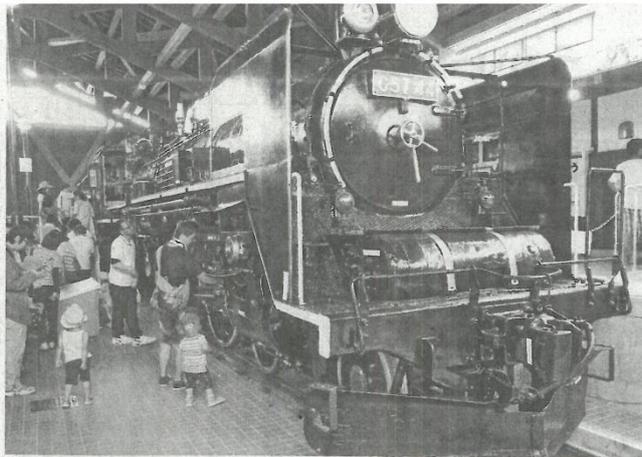
20日は開館記念シンポジウムもあり、東京大の原明名誉教授が西条市長や国鉄総裁を務めた故十河信一氏について「総裁就任当初、瀬戸内海沿岸を日本の産業と観光の中心にしよう」と構想を練っていた、などと語り、瀬戸内海周辺の市町が持つ可能性を強調した。

南館の入館料は南北両館共通で一般300円、小中学生100円。水曜休館。

(竹下世成)

産経新聞(平成26年7月22日 23面)

新聞記事は、各社に許諾を得て掲載しています。



復元されたC57形蒸気機関車など展示に見入る来場者ら。愛媛県西条市

Sなど展示に見入る

西条 四国鉄道文化館南館オープン

愛媛県西条市の四国鉄道文化館の南館が、JR伊予西条駅の南側にオープンした。復元されたC57形蒸気機関車などが展示され、子供たちが運転台上座って運転士気分を味わうなど、始まったばかりの夏休みを楽しく過ごした。

記念式典では、青野勝市長が「鉄道文化をこから内外に発信したい」とあいさつ。鉄道資料を寄付した日本ナショナルトラストの故増田浩三常務理事の四女、晶子さん、C57を修復した大山正風さんの2人に感謝状が贈られた。

一般公開が始まると入館者は、四国路を力強く駆け抜けたキハ65形気動車やDE10形ディーゼル機関車など展示車両を間近に眺めてその迫力に感心したり、かつての鉄道風景を懐かしん

ツシヨンも行われた。

四国鉄道文化館は平成19年11月、同市ゆかりで東海道新幹線を建設した第4代国鉄総裁の十河信一氏と四国の鉄道文化を顕彰しようとして開設された。南館にはキハ65形気動車など4両を展示。既設の北館と合わせる展示車両は6両になった。

展示施設の拡充図る

四国鉄道文化館 南館オープン

愛媛県西条市は20日、予讃線伊予西条駅北側に隣接する四国鉄道文化館の展示施設拡充を図るため、同館南館をオープンした。併せて、南館で記念式典を行い、完成を祝った。

四国鉄道文化館は、鉄道に対する理解を深めてもらうと2007年(平成19年)11月に開館。四国内で活躍したディーゼル機関車DF501号機や東海道・山陽新幹線を走ったO系などを展示している。さらに車両や資料を増やそうと南館の建設工事を進めてきた。

南館には、同市の市民公園に飾られていた蒸気機関車C57 4号機やJR四国の多度津工場で保存されていた急行形気動車ハ65とDE101号



南館の開館を祝いテープカットする関係者

宮脇正行地域連携室長、真鍋雅伊予西条駅長、JR東海の松本正之特別顧問、愛媛県選出の国会議員らが出席。

梅原名誉館長、泉社長らでテープカットを行い、開館を祝った後、青野市長が「伊予西条駅の記憶をわが南北に拡大した。JR四国などに協力を加えたい。鉄道の魅力を強力で発信する」とともに、地下水や石鎚山といった市の資源もPRし、観光振興に努めたい」とあいさつ。

知事のあいさつを代読している」と述べた。泉社長も「7年前の開館以来、鉄道に関する情報発信に協力いただいた。今後も四国の相互に協力する連携協定の調印式を実施。青野市長と泉社長が協定書にサインし、握手を交わした。

同日は、戦後に同市の市長や第4代国鉄総裁を務めた十河信二氏の功績と鉄道テーマにした南館開館記念シンポジウム(同市主催)も開催され、市民ら約230人が参加した。JR四国、交通新聞社などの後援。冒頭、青野市長が「心

十河氏と鉄道テーマにシンポ



地まの環境の中で南館をオープンすることができた。さらに磨きをかけて、皆さまに愛され、お越しいただきたい」とあいさつ。

同日は、戦後に同市の市長や第4代国鉄総裁を務めた十河信二氏の功績と鉄道テーマにした南館開館記念シンポジウム(同市主催)も開催され、市民ら約230人が参加した。JR四国、交通新聞社などの後援。冒頭、青野市長が「心

新聞記事は、交通新聞社に許諾を得て掲載しています。

市報(平成 26 年 9 月号)

7/20 南館開館記念シンポジウムを開催



市内外から約230人が参加して、東京大学名誉教授の原明氏が「十河国鉄総裁の瀬戸内観光構想」と題して講演を西条国際ホテルで行いました。また、パネルディスカッションも行い、今後の四国鉄道文化館のあり方についてさまざまな意見が交わされました。

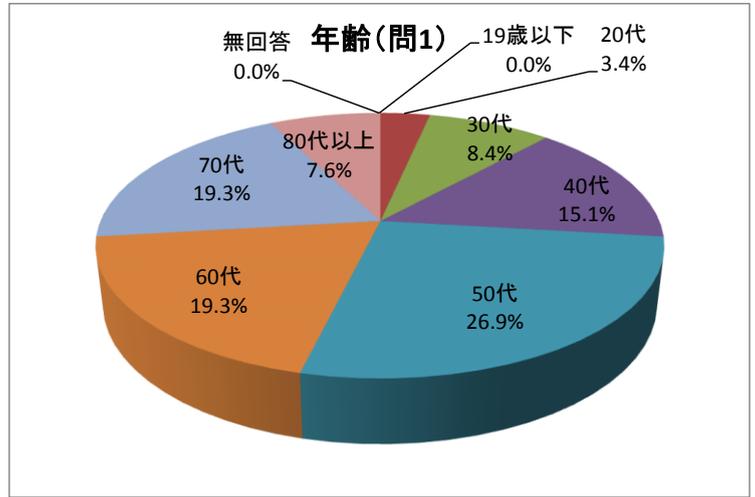
アンケート集計結果

(7月20日開催 四国鉄道文化館南館開館記念シンポジウムへの来場者230名対象)

回収数	119	回収率	51.7%
-----	-----	-----	-------

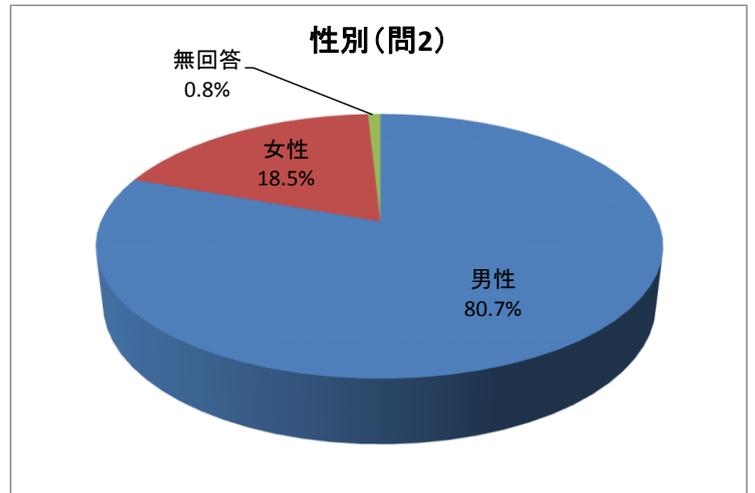
年齢 (問1)

	人数	割合
19歳以下	0	0.0%
20代	4	3.4%
30代	10	8.4%
40代	18	15.1%
50代	32	26.9%
60代	23	19.3%
70代	23	19.3%
80代以上	9	7.6%
無回答	0	0.0%
合計	119	100%



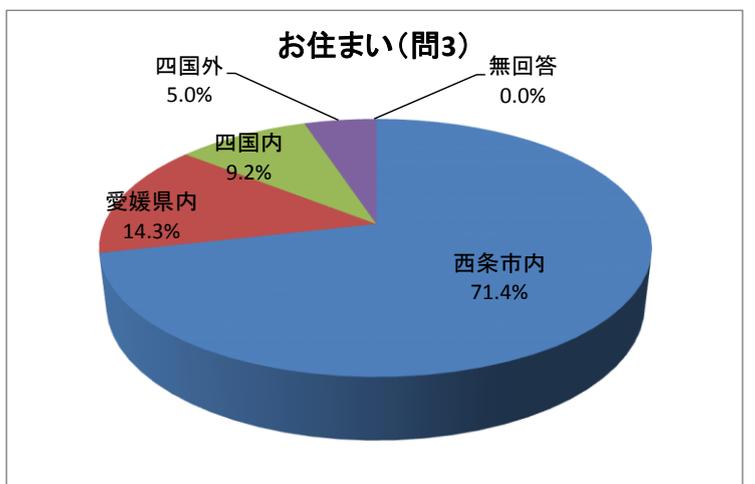
性別 (問2)

	人数	割合
男性	96	80.7%
女性	22	18.5%
無回答	1	0.8%
合計	119	100.0%



お住まい (問3)

	人数	割合
西条市内	85	71.4%
愛媛県内	17	14.3%
四国内	11	9.2%
四国外	6	5.0%
無回答	0	0.0%
合計	119	100.0%



(四国外の都道府県名)

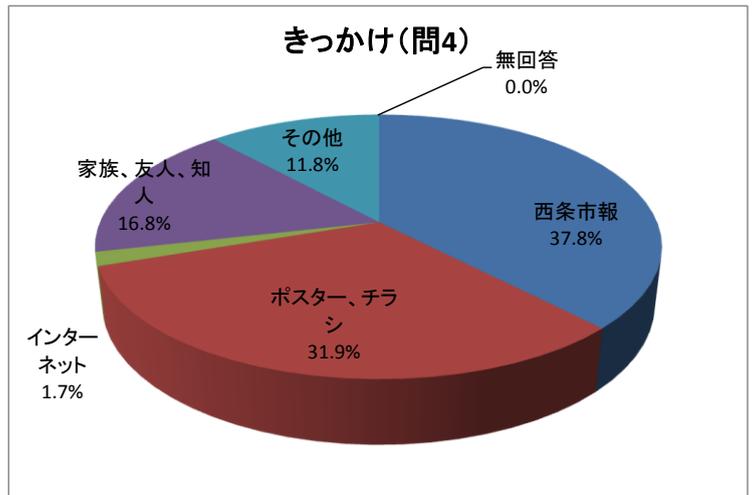
- ・千葉県
- ・神奈川県
- ・山口県

きっかけ (問4)

	人数	割合
西条市報	45	37.8%
ポスター、チラシ	38	31.9%
インターネット	2	1.7%
家族、友人、知人	20	16.8%
その他	14	11.8%
無回答	0	0.0%
合計	119	100.0%

(きっかけのその他回答)

- ・動員
- ・市行政から
- ・婦人会から
- ・タウン誌
- ・十河信二を知る会から

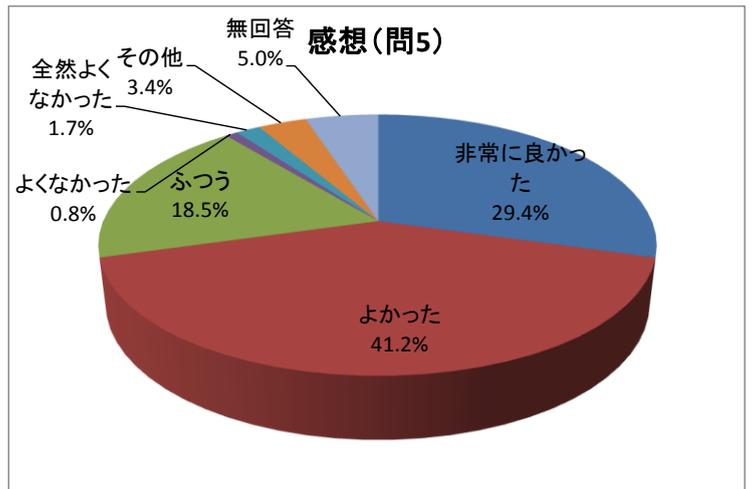


感想 (問5)

	人数	割合
非常に良かった	35	29.4%
よかった	49	41.2%
ふつう	22	18.5%
よくなかった	1	0.8%
全然よくなかった	2	1.7%
その他	4	3.4%
無回答	6	5.0%
合計	119	100.0%

(感想のその他回答)

- ・パネルディスカッションに工夫が足りなかった。
- ・マイクの調子が悪いのか、聞き取りづらかった。
- ・泉社長出席のもと、四国新幹線実現化のためのディスカッションを期待していたので、残念

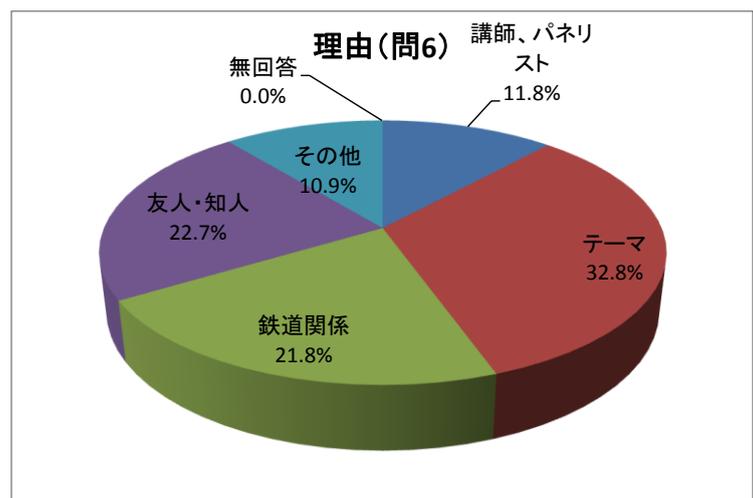


理由 (問6)

	人数	割合
講師、パネリスト	14	11.8%
テーマ	39	32.8%
鉄道関係	26	21.8%
友人・知人	27	22.7%
その他	13	10.9%
無回答	0	0.0%
合計	119	100.0%

(理由のその他回答)

- ・父が駅員だったから
- ・動員の頭数に入ったので、仕方なく
- ・遠方で遊学中の鉄道好きの孫の代わりに
- ・十河信二先生について知りたかったから
- ・隣の人の勧め
- ・十河信二さんに一度お目にかかっているから



【問7：南館への希望】 【自由回答】

- ・写真展、模型展、切符展
- ・子供たちが楽しめるイベントを企画してみませんか？ミニSLを使ったイベント等
- ・家族で楽しめるイベント
- ・JR四国の協力で、列車運転の体験できるゾーンを整備していただきたい。
- ・鉄道の音、振動があればいいと思った。
- ・新幹線は西条駅に止まりますか？
- ・南館がオープンしたのなら、パンフレットを渡してほしかった。
- ・集客力アップのための仕掛け（外国人・県外人）を県内自治体等が協力したイベントで行う
- ・以前から孫が来ると連れて行っています。
ますます楽しんでくれる場所が、増えたようで楽しみです。
- ・まず西条市民が会館の良さを知ることが大切。
イベントばかりでなく、研修の地にするのも一案だと思います。
- ・今、活動中の列車を1日展示（引き込んで）して、車内の見学をさせてほしい。
前もって市報等で紹介して人集めを。
- ・何回も訪れたいようなイベント・企画を開催してください。
- ・専門の学芸員を置いて学術研究にも重きを置き、市政、観光へとフィードバックしてほしいと思います。
鉄道をもとに市の振興をやるならば、腰を据えて継続していくことが必要だと思います。
とにかく中途半端なものにしないことが肝要かと思っています。
ただ展示館を作っただけということにしないようにお願いします。
- ・四国四県の協力によりSLの動体保存（実際に動かすこと）、そして運転体験を可能にすれば、
話題性もあり、いつまでも記念館が存続できますよう願います。
入場者が少なくなったからといって、廃館をするのではなく多数の人の意見を聞いてください。
鉄道OBの活用をしてはどうですか？
2、3回と入館できる施策、工夫が必要ではないでしょうか？
- ・C57（春雷）を走らせてください。伊予西条駅の構内でかまいませんので、ぜひ走らせてください。
- ・他館との交流で、展示物の入れ替えがきくものを入れ替える。
- ・四国の鉄道の歴史がわかる行事をやってほしい。
- ・将来の鉄道ファン、新幹線ファンをつくるために子供中心のイベントに工夫を凝らしていけば
と思います。
- ・十河信二さんに関わる映画の上映会があればみてみたい。
- ・鉄道関連の書物・資料なども長期的に少しずつ集めていくと、文化的な求心力を持つてくる
のではないかと思います。今後一層の発展をお祈りいたします。お茶（とビールも？）を
飲んで休めるところ、良いですね。市民の憩いの場にもなります。
- ・「一将（十河総裁）功なりて、万傑（他のすぐれたたたくさんの人）枯れる。」ではいけない。
十河総裁を助けて、関門トンネルを作り、後に初代四国鉄道管理局長となった井上禎一なども
顕彰すべきである。

（井上禎一の資料は、ドイツ・イギリスに2回目の勉強に行った際のはがき、アメリカでの
新聞記事等を私が持っており、その他遺族に連絡すれば、若干提供してもらえらると思われる。）

- ・駅弁を作ってください！
- ・鉄道講座等学びの場としてのイベント開催
- ・地域の大人から子供たちまで折に触れ、見学会やイベントに参加し、広く知ってもらおう努力を
したいと思います。
- ・SLの絵画なども展示すればよいのでは？
- ・0系の生まれた下松市との交流をぜひ出来たらと思います。7月27日は下松で生涯学習の
イベントがあり、この中で下松で生まれた0系を紹介しようと考えています。
- ・列車運転シミュレーター（模擬運転台）の導入も検討願いたい。（予讃線関係）
- ・SLの動態演出を期待しています。とても美しいSLでした。
- ・増田さんの業績を集めてください。
- ・加藤新一さんの話がとてもよかったです。お話も聞きやすかったです。
- ・ただ列車を置いておくだけでなく、四国新幹線等も含め、鉄道文化を発信できるイベントを
開催してください。
- ・泉様のお話がよくわかり、よかったです。
- ・子供や鉄道ファンのみならず、私たち老人も楽しめるような催しや行事を企画してください。
楽しみに待っています。
- ・情報の収集、発信、交流を活発にされ、山口県で活動を始めたSL保存団体「笠戸島から
1592を燦かせる会」との交流をお願いします。
- ・鉄道の日記念イベントで、愛媛の予土線をPRしてほしい。
- ・鉄道唱歌の大会、石鎚と鉄道の写真展、西条市における鉄道と観光の可能性（西条、
石鎚、氷見、小松、玉之江、三芳）この区間だけ使える周遊券の発券（一日周遊券）
店の案内、名所の案内、鉄道クイズ、鉄道と瀬戸内の写真展（7駅に配る）
記念切符の発券、三芳～壬生川～小松の遍路道切符
- ・鉄道シアター（SL、DLの映像）、子供鉄道クラブ
- ・ご健闘を祈ります。
- ・新居浜市の県総合科学博物館、松山市の生涯学習センター（人物博物館）との連携
企画を検討していただけたらと思います。
周辺部に軽食をいただける場所、案内が設置されているとありがたいです。ホテルはほと
んど飲み物提供のみ、KIOSKも弁当はおいておられない。ウィリーウィンキーさんと
やっとなパンを購入することができました。観光センターに掲示板があると嬉しいです。

